

# 福祉フォーラム通信

No.29 発行日：2023年10月5日

## ご報告

2022年度福祉フォーラム「対話共創型プロジェクト」  
第1回滋賀編、第2回京都編を開催しました。

福祉フォーラムでは、昨年度から年間テーマ（社会福祉課題）を設定して、そのテーマをめぐり実践、施策など多様な側面から理解を深めることをねらいとした取り組みとして、「龍谷大学福祉フォーラム対話共創型プロジェクト お寺で出会い、地域にご縁～つながり・居場所をどう作るか～」を実施しております。

今年度は、取り組みを実践されている寺院をお借りして、同じく実践されている福祉団体とともに「つながり・居場所づくり」の取り組みを紹介（報告）し、参加者の皆様とともに具体的課題を掘りさげ、共有し、地域における新たなつながり・居場所づくりのスキルやノウハウを学ぶワークショップ講座を対面とオンラインのハイブリッドで開催しました。



Ryukoku  
Forum  
お寺で出会い、地域にご縁  
つながり・居場所をどう作るか

2022年度福祉フォーラム「対話共創型プロジェクト」

寺院と福祉の現場で実践に行われている「つながり・居場所づくり」の取組を紹介し、参加者のみなさんとともに具体的な課題について掘りさげ、共有し、地域における新たなつながり・居場所づくりのスキルやノウハウを学ぶ対話型ワークショップです。

今年度は、取組を実施されている寺院をお借りし、対面とオンラインのハイブリッドで開催します。ご都合に合わせていずれかにぜひご参加ください。

内 容	
<b>第1回「さまざまな人びととの出会いからつながることー滋賀編」</b>	
日 時	2022年11月28日（月）18時00分～20時00分
場 所	浄土真宗本願寺派覚明寺（滋賀県守山市）又はオンライン
主催者	浄土真宗本願寺派覚明寺 住職 宇野 哲哉氏 NPO法人 CASN 代表 谷口 久美子氏
<b>第2回「さまざまな人びととの出会いからつながることー京都編」</b>	
日 時	2022年12月12日（月）18時00分～20時00分
場 所	浄土真宗本願寺派覚明寺（京都府宇治市）又はオンライン
主催者	浄土真宗本願寺派覚明寺 住職 住持 哲哉氏 社会福祉法人済理会 トリムアップ・カレッジ プロジェクトリーダー・ジョブコーチ 河成 晴子氏

統括・コーディネーター（第1回・第2回）  
統括 済理 龍谷大学社会学部社会学科統括

## 第1回

### 「さまざまな人びととの出会いからつながることー滋賀編」

日 時：2022年11月28日（月）18時00分～20時00分

場 所：浄土真宗本願寺派覚明寺（滋賀県守山市）又は オンライン

登壇者：浄土真宗本願寺派覚明寺 住職 宇野 哲哉 氏

NPO法人 CASN 代表 谷口 久美子 氏



## 第2回

### 「さまざまな人びととの出会いからつながること—京都編」

日時：2022年12月12日（月）18時00分～20時00分

場所：浄土真宗本願寺派明覚寺（京都市下京区）又はオンライン

登壇者：浄土真宗本願寺派明覚寺 住職 柱本 惇 氏

社会福祉法人向陵会 トリムタブ・カレッジ

プロジェクトリーダー/ジョブコーチ 河波 明子 氏



両会場とも、まずお寺と NPO 法人から実践報告がなされ、その後、猪瀬 優理 社会学部社会学科教授の司会のもと、お寺と NPO の報告者によるパネルディスカッション「『対談』協働の可能性」が行われました。その後、ファシリテーターと参加者でグループワークを実施し、「つながる」という観点からお寺と福祉の今後のあり方について理解を深める機会となりました。

## ご報告

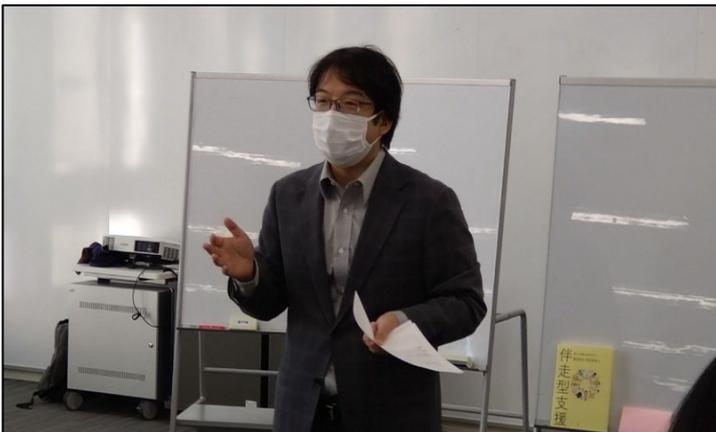
### 福祉フォーラム第26回専門セミナー

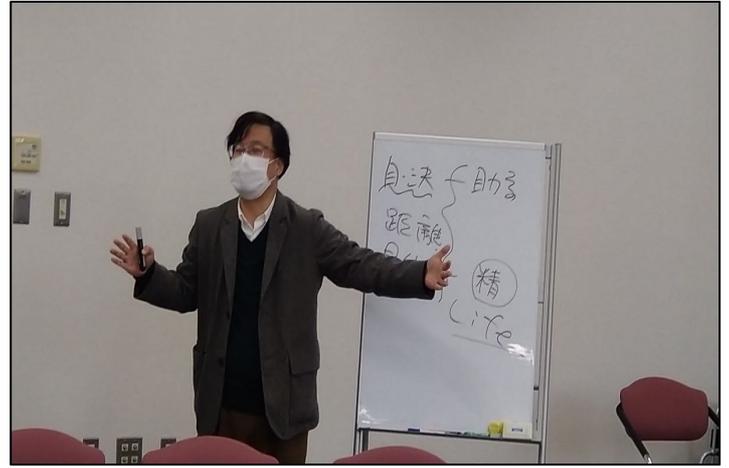
「支援と寄り添い～伴走型支援に向けて～」を開催しました。

福祉フォーラムでは、12月10日（土）に第26回専門セミナーを瀬田キャンパス多機能教室で開催しました。専門セミナーは、社会福祉実践に関わる専門職やスタッフの方を対象とした講座で、福祉、保健、教育などの現場で直面する問題についての悩みや解決策を話し合い、専門的スキル向上を目指すことを目的としています。

今年度は、福祉現場で重視されている「伴走型支援」を念頭に支援における寄り添いをテーマにセミナーを開催しました。伴走することの重要性、寄り添いの意義は理解されても、その実践にはさまざまな難しさがあります。そこで、本学の教員でもあった笠井 賢紀 慶應義塾大学法学部准教授をお招きし、ワークショップを行い、ともにいること、寄り添うことの意味、難しさ、そして可能性を考える機会を設けることとしました。

まず20名の参加者同士の自己紹介に始まり、主に事例検討を通して、参加者の日々の思いを共有しながら、当事者を尊重した対話の重要性が確認されました。他にも本フォーラムの桐高委員から事例報告があり、多くの実践経験の交わりもまた重要な意味があったと思います。





参加者からは、「伴走型支援について、一人でがんばらなくてもチームで細く長くかかわっていくという支援の方法を学ぶことができました。少しほっとした気持ちです」、「自分が思う理想と現実が違うことの方が多いですが、悩みながら自分自身とつながりつつ、これからも当事者と少しずつつながり続けられたらと思います。エネルギー補給ができました」、「色々なアングルからのお話がきけてよかった。地域の中で気遣う人が増え、自分の事を気に留めてもらえているという”まなざし”を感じられるようなつながりをつくっていききたい。お互い様である感覚を感じていけるといいなと思いました」等、様々な声が聞かれ、実りあるセミナーになりました。

## ご案内 福祉フォーラム第27回・第28回専門セミナーを開催します。

福祉フォーラムでは、2023年度も以下のとおり、瀬田キャンパスにて専門セミナーを開催します。

- ・第27回 2023年12月16日(土)  
テーマ：「孤立への伴走～居場所の今とこれから～」

基調講演「孤立・孤独と居場所」

山田 容 (龍谷大学社会学部教授)

桐高 とよみ さん (特定非営利活動法人ぱんじー所長・福祉フォーラム委員)

シンポジウム「居場所の今とこれから」

森野 道代 さん (大津市社会福祉協議会地域福祉課長)

山崎 秀樹 さん (甲賀・湖南ひきこもり支援 奏一かなで一事務局長)

中島 円実 さん (滋賀県地域養護推進協議会 つながり若者センター 統括コーディネーター)

- ・第28回 2024年1月21日(日)  
テーマ：「『子ども期の逆境体験 (ACE)』をもつ若者をどう支援するか？」～当事者と研究者の視点を交差する～

基調講演 (研究者の視点から)

三谷 はるよ さん (龍谷大学 社会学部 准教授, 『ACE サバイバー』(ちくま新書, 2023年) 著者)

実践報告 (ACE サバイバー当事者の視点から)

平井 登威 さん (NPO 法人 CoCoTELI 代表理事)

ほほこ (道子) さん (元エホバの証人 二世当事者)

ワークショップ「子ども期の逆境体験をもつ若者をどう支援するか？」

ファシリテーター：川中 大輔 (龍谷大学社会学部准教授, こども家庭庁 こども家庭審議会 専門委員)



Ryukoku University

福祉フォーラム通信

No.29

編集：龍谷大学福祉フォーラム事務局 (REC 滋賀) □

<https://ryukoku.ac.jp>

Tel 077-544-7291 Fax 077-543-7771

E-mail [r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp)

HP <https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/welfare/>